

物価高から市民のくらし守れ！

憲法集会

300人がデモ行進



秋晴れとなった憲法公布記念日の11月3日、「憲法を生かして広げよう」と、勝山公園で集会が開かれました。「平和をあきらめない北九州ネット」が主催したもので、市民や学生、女性団体、弁護士事務所などから約300人が参加しました。

共産党市議団から6人の市議が参加。JR小倉駅まで参加者とともにデモ行進し、「憲法守れ」「軍事費の増大反対」と声を上げました。

集会では、前田憲徳弁護士、仁比聡平参院議員らがあいさつしました。



北九州市議団は11月21日、コロナとインフルエンザの同時流行も踏まえ、第一線でいのちを守る保健所の体制充実、ワクチン接種の促進、医療提供体制、宿泊療養体制の強化などを要望。物価高騰対策では、消費税引き下げを国に強く要望すること、食料支援予算の大幅増、学校給食の無料化をはじめとする子育て世帯への支援

北九州市議団は11月25日、物価高騰、インボイス導入問題をめぐって北九州市内の民主商工会（民商）と懇談しました。民商側からは「インボイスへの対応に苦慮している」「物価高騰で商売がたいへん。持続化給付金のような直接支援をやってほしい」などの声が出されました。議員団からは、物価高騰、コロナ対策で北九州市に申し入れを行ったことを紹介。消費税引き下げ、インボイス延期・中止、保険証を廃止する「マイナ保険証」ストップのため、一緒に市民的な運動を広げていきたい、と呼びかけました。

コロナ対策では、コロナとインフルエンザの同時流行も踏まえ、第一線でいのちを守る保健所の体制充実、ワクチン接種の促進、医療提供体制、宿泊療養体制の強化などを要望。物価高騰対策では、消費税引き下げを国に強く要望すること、食料支援予算の大幅増、学校給食の無料化をはじめとする子育て世帯への支援

物価高騰、インボイス導入問題で民商と懇談

強化、インボイス制度中止をはじめとした事業者支援強化などを求めました。議員からは「コロナ早期発見のため簡易検査キットの無料配布を」「肥料の高騰に加え、米価の下落、カメムシの発生で農業は大きな打撃。市としての支援を」「音楽、文化、お茶、着付けなどに携わる人たちの現状も深刻」などの実態や要望が出され、12月5日を期限に文書による回答を求めました。

コロナ、物価高騰対策を北九州市議団が申入れ

北九州市議会 12月議会

スタート

12月議会日程（予定）

- ◆本会議（開会、質疑・一般質問）
12月7日（水）
- ◆本会議（一般質問）
12月8日（木）、9日（金）、12日（月）
- ◆常任委員会
12月13日（火）
- ◆常任委員会・議会運営委員会
12月14日（水）
- ◆本会議（閉会）
12月15日（木）

12月議会が7日から始まります（15日まで）。4期16年、市長を務めた北橋市長はすでに退任を表明。来年2月には新市長を選ぶ北九州市長選挙が実施されます。12月議会では、北橋市政のあり方とともに、新しい北九州の未来像をどう描くかが問われます。市議団はこの間、民青同盟が行っ

た北九州市立大生への食料支援に協力。合馬小学校のフレンドリースクール、障がい者の働く場となっているサンアクアTOTO（株）を視察。市民の声に耳を傾け、市政に届けるとともに、「憲法いいね！集会」に参加し、平和憲法を守ろうと呼びかけてきました。

みなさんの声届けます



荒川徹 議員（会派質疑、30分）
◆物価高騰問題への対策について
◆プラスチックの資源再利用について



藤沢加代 議員（会派質疑、30分）
◆図書館の指定管理について
◆マイナポイント支援事業について
◆医療扶助のオンライン資格確認について
◆学校給食異物混入について



伊藤淳一 議員（一般質問、30分）
◆コロナ対策、医療機関支援について
◆介護保険問題について



山内涼成 議員（一般質問、30分）
◆会計年度任用職員問題について
◆教材格差問題について



出口成信 議員（一般質問、30分）
◆地域の省エネ・再エネ対策について
◆ゴミのふれあい収集について
◆市営住宅家賃の過払いについて



永井佑 議員（一般質問、30分）
◆不登校問題について
◆産後ケア事業について



高橋都 議員（一般質問、60分）
◆公共施設マネジメントについて
◆中小業者支援・インボイス制度について
◆学校給食費無償化について
◆高齢者福祉乗車券について

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2022.12.1

No. 573

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



現場に足を運んで

確信

市立合馬小学校「のびのびフレンドリースクール」

少人数学級の実現こそ

11月8日、市議団は「のびのびフレンドリースクール」に取り組む小学校の一つ、合馬小学校（児童数57人）を視察しました。

自然環境に恵まれた小規模な小学校に通学区域を越えて転入学できる制度で、市内3つの小学校で取り組んでいます。校区外から合馬小に通学しているフレンドリー児童は30人。何らかの学びにくさを抱えて同校に公共交通機関などを使い自力通学している児童たちです。



▶学校関係者と懇談する市議団
▲神楽の練習に取り組む子どもたち



合馬小学校

視察で、特に印象に残ったのが「合馬子ども神楽」の練習風景でした。児童が舞いや横笛を奏で、

教職員が見守り、地域の人たちも一緒に神楽をつくりあげる。全校、地域が一体となる瞬間でした。

1クラスの児童数は6〜12人。少人数だからこそ、すべての教師が一人ひとり子どもの特性を理解し、様々な取り組みができています、と実感しました。校長先生によれば、学力も市内でトップクラスとのことでした。

少人数学級の良さを体現している合馬小学校のような取り組みを全市的に広げるべきではないか。フレンドリースクールが教えてくれました。

実感



▲視察する市議団
▲作業中の従業員の方

11月17日、市議団としてサンアカアTOTO（株）（小倉南区）を視察しました。同社は、就労の機会に恵まれない障が

工夫、改善の職場環境

サンアカアTOTO（株）を視察

共同

民青同盟が北九大生に食料支援

お米、カップ麺、レトルト食品にお菓子…

物価高とコロナ禍に苦しむ北九大生を支援しようと11月6日、北方さくら公園（小倉南区）で「北九大生応援 食材もってけ市」を行いました。民青同盟が主催したもので、同公園での食料支援は6回目。二人の市議が駆け付けました。



食料支援に集まった学生たち

準備したのは、お米、レトルト食品、カップ麺、生理用品、トイレットペーパーなど、毎日の生活にかかせないものばかりです。午前11時にスタートするとさっそく学生たちの姿が。「ピラを見て知りました」「ラインで教えてもらった」「ツイッターを見て」と、1時間余で18人の学生が訪れました。

両手に下げたレジ袋は米や食材で膨らみ「助かりました」「これで、スマホ代が払える」と笑顔もはじけました。市議も学生たちと対話。「学費が高くてたいへん。下げてほしい」の声に市議が「私の時の学費は月1000円。年間で1万2000円でした」と話すと、学生からは、「えー。本当ですか」と驚きの声が上がっていました。

市議団は北九州市に対し、引き続き学生への支援強化を求めていくことにしています。

たもの。従業員148人のうち、93人が障がい者（身体・精神・発達・知的障害）で、約4割が重度の障がい者です。障がいのある人、ない人が共に働きやすい環境を作るため、治具づくりを含め、個性を尊重したさまざまな工夫、改善活動に取り組んでいます。設備も、個室ごとに配置を変えているトイレ、高さの違う洗面台、万が一の火災に備えた10mの高い天井（煙溜まりとなり避難時間を稼ぐ）など、生活面から安全面まで、あらゆる所に細かな工夫を凝らしていました。

視察後、参加した議員から「障がいがある人もない人もみんなが主役、その言葉がぴったりとくる職場だった」との感想が出されました。

い者に職場を提供することを設立趣旨に、福岡県、北九州市、TOTOの共同出資による第三セクター方式で、1993年に設立され

日本共産党各議員の常任委員会配置（◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員）

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
大石 正信	高橋 都	◎藤沢 加代	○荒川 徹	出口 成信	☆山内 涼成
		永井 佑	伊藤 淳一		